

若き齋藤^{たけし}勇¹の英詩講義ノート（明星大学資料図書館蔵）を読む

笠原 順路

はじめに

2016年4月、明星大学資料図書館4階の齋藤勇文庫内の未整理の棚から、齋藤が1914年から数年かけて行った英詩講義の原稿（大学ノート約800頁、一部を除いて未刊行）がほぼ完全な形で発見された。筆者は、明星大学と当該分野の若手・中堅研究者の協力を得て、約半年かけて文字起こしを行った²。

このノートは、筆者が通読した限り、作品読解を目的とした講義録として非常によく整理されているように思えた。しかし大成した齋藤の著作とはかなり違った印象も同時に受けた。「若書きの齋藤ノート発見」というセンセーショナルな興奮を差し引いても、間違いなく何かが違っていた。それは何か、また何故か、文字起こしに携わった者らでそんなことを雑談的に話しているうちにシンポジウムの構想が浮上し、やがてそれが日本英文学会関東支部第17回大会におけるシンポジウム「紹介から研究へ——若き齋藤勇の英詩講義ノート（新発見！）を読む」（2019年6月15日、於東洋大学白山キャンパス）へと結実していった。

以下に続く三論文は、いずれもそのシンポジウムの発表原稿に若干の加筆修正を加えたものであり、「齋藤勇の英詩講義ノート」（以下、「ノート」と略す）の特徴を、当時齋藤が参照した文献や、大成した齋藤自身の著作、さらには後の英文学研究の動向や成果などと比較して、浮かび上がらせようとするものだ。また、そもそも明星大学ゆかりの資料に関するシンポジウムがもともとなった研究であり、一括掲載することに意味があることから、明星教育センター編集委員会での承認のもと、特別に寄稿を招請して、厳正なる査読を経て掲載されることになったものである。なおこれらの稿は、「ノート」の紹介としての役割も担っているという自覚から、引用はあまり細切れにせず、ざっくりと大切にした。こうした企画をお認め下さった、明星教育センターの関係各位に深く御礼申し上げる。



図版1 「キーツ論」と題した封筒とその内容物。
封筒には「東大英文科講義（一九一六年から三年間にわたる）原稿。整理推敲の上、出版したい。」とマジックインキで記されている。封筒は研究社出版株式会社（神楽坂一丁目）のもの。笠原撮影。© 明星大学図書館

注

- 1 齋藤 勇(さいとう・たけし)——英文学者、昭和の日本における英文学研究の第一人者(1887-1982)。東京帝国大学助教授・教授(1923-47)、東京女子大学学長(1948-54)、国際基督教大学教授(1954-64)を歴任。主著：*Keats' View of Poetry* (London: Cobden Sanderson, 1929)、「齋藤勇著作集」全7巻+別冊1巻(研究社、1975-78)。1979年、エリザベス女王より、イギリス名誉騎士勲章(Honorary Knight Commander of the Order of the British Empire)を授与される。没後、明星大学が蔵書一式を譲り受け、図書館4階に「齋藤勇文庫」を創設して今日に至る(非公開)。書籍類は整理済みだが、原稿類は未整理。
- 2 文字起こしは、明星大学より特別の助成を得、著作権継承者の了解のもと、現役の大学院生(以下、敬称略)鳥居創、岩本浩樹、騎馬秀太、橋本良一の協力を得て、当該分野の中堅研究者の木谷巖(帝京大学准教授)、鈴木喜和(日本女子大学准教授)、田代尚路(大妻女子大学准教授)の点検を経て、最終的に笠原順路が監修して2017年2月に完成を見た。作業に当たっては、学術的価値を尊重したAT版(=accurate transcript. 原則として原文のママ。但し漢字は、現代の本字・常用漢字の区別は殆どがくずしの度合の違いでしかないので、齋藤自身が別字として認識していたと思われるものを除いて現代の通用フォントを使用。仮名遣いは、変体仮名を現代仮名遣いに直した以外は、原文のママ。)と、出版を視野に入れ、21世紀の教養ある読者の読みやすさを旨としたRT版(=reading transcript. 常用漢字と現代仮名遣い(但し文語文以外)使用。)の2種類作成した。以下の三稿ではRT版から引用する。また、ふりがなは、各筆者の責任で適宜付した。

関連文献

(以下の三論文で引用する齋藤の著作は、和書・洋書の別なく執筆順に列挙)

SAITO, Takeshi. *Tennyson: A Study of His Mind and Art*, 3 vols. 1914-15. [ページ番号は、齋藤がつけたもので、3巻通しで振られている。以下、Shelley, Keatsについても同じ。本稿中で例えば *Tennyson: A Study of His Mind and Art*, pp. 37-41 なら“SN-Te1:37-41”などと略す。

----- *Notes on the Poetry of Tennyson*. [1914-15?]. [SN-TeN と略す]

----- *Notes on Matthew Arnold's "Essays in Criticism", Second Series*. 1916-17. At Shingakusha. [SN-Ar と略す]

----- *Poetry of Ideality: A Study of P.B. Shelley*, 2 vols. 1917-18. [SN-Sh1/ SN-Sh2 と略す]

----- *Studies in Keats*, 2 vols. 1918-19. [SN-Ke1/SN-Ke2 と略す]

----- *Studies in Keats*. 1921-22. [SN-Ke3 と略す]

----- *Keats' View of Poetry*. London: Cobden Sanderson, 1929.

----- 「齋藤勇著作集」全7巻+別冊1巻、研究社、1975-78.

笠原順路「齋藤勇の講義録の発見」イギリス・ロマン派学会編『会報』No. 41 (2017年5月), 42.